

著者	書名	レベル	感想
岡山ゆかりの著者	1 ★★ 『強く、しなやかに』 渡辺和子 ニ・二六事件のとき、目の前で父が凶弾に倒れるのを見た9歳の少女は、その後、修道者となり、岡山の地で女子教育に全霊を注ぐ。ノートルダム清心学園理事長の貴重な自伝。	★	生きる 13 ★★ 『ナイフ』 重松清 いじめを主題とした小説。単にいじめられている側の視点だけでなく、保護者とか幼馴染などの視点からも描かれていて生々しい。一つ一つが短編で読みやすい(図書委員Nさん)
	2 ★★ 『見えないから見えたもの』 竹内昌彦 小2のとき網膜剥離により失明。そんな幼少期から現在まで、数々の困難に立ち向かい、ひとつひとつ乗り越えて成長していった波乱の人生の物語。	★	
	3 ★★ 『かあちゃん』 重松清 お母さんなどの家族や身近な人へ、改めて感謝の気持ちを伝えたい！！自分は1人じゃないことを強く感じられます(図書委員Uさん)	★	
	4 ★★ 『無私の日本人』 磯田道史 岡山県出身の著者は、今やTV等で引っ張りだこの人気歴史学者。この本は、江戸時代の人物3名をとりあげた伝記で、所収の短編「穀田屋十三郎」は、今春映画化されました。	★	
感動	5 ★ 『雲は湧き、光あふれて』 須賀しのぶ 友情、嫉妬、ライバル心、そして一体感。少年たちの熱い夏を描いた涙と感動の高校野球小説集。野球経験者もそうでない人も感動できます。	★	恋 18 ★ 『君の隣臓をたべたい』 住野よる 私も、自分を変化させてくれる人に出会えたらすばらしいなと思うし、私自身も変化を与えられる人になりたいなと思ったりした。たくさん考えさせてくれるよい本(図書委員Aさん)
	6 ★★ 『羊と鋼の森』 宮下奈都 今年度本屋大賞受賞作。調律師という特殊な職業に目覚め、その夢を実現させた青年が、本物の調律師として立ち立っていく物語。若者の心の成長が丁寧に描かれる。	★	
	7 ★ 『キミの目が覚めたなら』 中原尚志 心肺停止、原因不明の病……。6年間意識不明の花嫁を待ち続けた新郎の「8年越しの結婚式」。感動のノンフィクション。	★	
	8 ★★ 『NASAより宇宙に近い町工場』 植松努 読みやすく、とてもおもしろく、ためになる本。この本で学べるがたくさんあります(図書委員Nさん)	★	
生きる・悩み	9 ★ 『ちょっと今から仕事やめてくる』 北川恵海 ブラック企業にこき使われて心身共に衰弱した隆は、無意識に線路に飛び込もうとした…。「働く」「生きる」ということについて、優しいタッチで描かれた佳作。	★	ミステリー 24 ★★ 『花の鎖』 湊かなえ 4人の少女の違った面からの後悔や苦しみが描かれた面白い作品です(図書委員Tさん)
	10 ★★ 『けむたい後輩』 柚木麻子 共感できるのでオススメ(図書委員Iさん)	★	
	11 ★★ 『星やどりの声』 朝井リョウ 直木賞作家の作品でとても良い(図書委員Sさん) 心があつまる(図書委員Mさん)	★	
	12 ★★ 『悼む人』 天童荒太 身内でも友達でもない全く知らない人の死を悼む主人公がとても不思議(図書委員Nさん)	★	
青春	14 ★ 『DIVE』 森絵都 1巻ごとに語り手が違うので、視点が違って面白い(図書委員Aさん)	★	15 ★ 『走れ！T校バスケット部』 松崎洋 図書委員Yさん推薦。中学時代に優秀なバスケ部員だった主人公が、ふとしたことで高校の弱小バスケ部を背負って立つことになり、いろいろと奮闘する物語。
	16 ★ 『武士道シックスティーン』 菅田哲也 剣道をやっている人なら物語に共感できるはず。中高生ならではの悩みや喜びが読んでいて楽しい(図書委員Wさん)	★	
	17 ★★ 『夜のピクニック』 恩田陸 ただ歩くだけの小説で、こんなにも感動できる！(図書委員Sさん)	★	
	19 ★ 『小説砂時計』 芦原妃名子 普通のドキドキするラブストーリーだけでなく、大切な人の死や別れなどの入った切ない話(図書委員Mさん)	★	
	20 ★ 『100回泣くこと』 中村航 生きることの大切さを改めて実感させられ、とても感動する話(図書委員Mさん)	★	
21 ★★ 『ストーリー・セラー』 有川浩 とても感動できる恋愛小説(図書委員Sさん)。	★		
22 ★★ 『夜は短し歩けよ乙女』 森見登美彦 古い言い回しが多いので語彙が増えると思います(図書委員Mさん)	★		
23 ★★ 『流れ星が消えないうちに』 橋本紡 いろいろと考えさせらる。感動する(図書委員Kさん)	★		
25 ★ 『死亡フラグが立ちました』 七尾与史 次になにが起こるか分からない面白さ(図書委員Yさん)	★		

ミステリー	26	★ ★	『掟上今日子の備忘録』 西尾維新 今日子さんの記憶が1日で消えてしまうという設定が面白く、その1日の間に事件を解くというストーリーが面白い(図書委員Yさん)	現代社会	39	★ ★	『世界から戦争がなくなる本当の理由』 池上彰 なぜ戦争がなくなるのかという哲学的な話ではなく、「戦争」をキーワードとした現代史の本です。さすがは池上さんで、分かりにくい箇所は全くなく、すらすらと理解できます。
	27	★ ★	『少女』 湊かなえ 図書委員Iさん推薦。高校2年の少女たちの衝撃的な夏休みを描く長編ミステリー。独特で、やみつきになりそうな後味の悪さはこの作者の独壇場。		40	★ ★	『民主主義ってなんだ?』 高橋源一郎 行動する作家、高橋源一郎と、SEALDsのメンバーとの対談本。なぜ若者たちは立ち上がったのか?その過程を知るには最上の本です。ぜひ政治を身近に感じてみてください。
	28	★ ★	『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野圭吾 図書委員Kさん推薦。悪事を働いた少年3人が逃げ込んだ古い家。そこは廃業した「悩み相談」の家だったはずだが…郵便口に悩み相談の手紙が落ちてきた…何故?		41	★ ★ ★	『人口減少×デザイン』 寛裕介 現代日本の大問題「人口減少」について、これほど視覚的に美しくまとめた本は他にないです。さらに「人口問題」を超えた深い内容にまで踏み込み、深い思索を与えてくれます。
SF・ファンタジー	29	★ ★	『獣の奏者』 上橋菜穂子 とても深くて感動する(図書委員Mさん) 小学生の頃に読んだが、まだ内容をはっきり覚えている(図書委員Oさん)	歴史	42	★ ★	『アヴェ・マリアのヴァイオリン』 香川宜子 自分たちが生まれる前の世界の歴史を知ることができる。考えさせられることがたくさんあるので、たくさんの人に読んでほしい(図書委員Uさん)
	30	★	『幽落町おばけ駄菓子屋』 蒼月海里 ほっこり優しいストーリーで、表情豊かなキャラクターが面白い。読みやすいです(図書委員Oさん)		43	★ ★	『日本兵捕虜はシルクロードにオペラハウスを建てた』 嵐信彦 ソ連四大劇場の一つとされたオペラハウス、ナボイ劇場。いまもウズベキスタンの誇りとなっている壮麗な劇場を建てたのは、シルクロードに抑留された、若き日本兵捕虜だった。
	31	★	『神様の御用人』 浅葉なつ 甘い物が好きだけど素直に食べたいと言えない、口は少し悪いけど、優しくて思いやりのある主人公の言葉に感動します(図書委員Oさん)		44	★ ★	『1945←2015 若者から若者への手紙』 「1945年に同世代だった戦争体験者へ手紙を書いてみませんか?」そんな呼びかけに応じた15人の若者たちが戦争体験者の証言を読み、そして手紙を書いた。戦争について知る好著。
	32	★ ★	『パブリカ』 筒井康隆 著者は有名な作家で、この作品は映画化もされている。本も映画も、人を引き込む不思議な魅力に包まれている。独特な表現やユーモアがあり、面白い(図書委員Tさん)		45	★ ★	『空想科学「理科」読本』 柳田理科雄 この本は、アニメ・漫画のヒーロー、ヒロインたちの驚くような技や現象を、理科の基本をおさえながら現実ならこうなると説明した本で、とても面白い(図書委員Aさん)
その他小説	33	★ ★	『火花』 又吉直樹 売れない芸人徳永は、師として仰ぐべき先輩神谷に出会った。そのお笑い哲学に心酔しつつ別の道を歩む徳永。二人の運命は? 真摯な筆致で芥川賞まで射止めた話題作。	理系	46	★ ★	『化学で「透明人間」になれますか?』 佐藤健太郎 化学の最前線では今、どんな研究が進行中で、どんな夢がかなえられようとしているのか…。理系の本はダメという人でも大丈夫です。これほど読みやすい本はないです。
	34	★ ★ ★	『流』 東山彰良 大陸から台湾、そして日本へ。歴史に刻まれた、一家の流浪と決断の軌跡。無軌道に生きようとする自分を、どこかで冷静に見つめているもう一人の自分。圧倒的な力作。		47	★ ★	『昆虫はすごい』 栗林慧 私たち人間がやっている行動や、築いてきた社会・文明によって生じた物事は、ほとんど昆虫が先にやっている。想像以上に面白い本でオススメです。
	35	★ ★	『人魚の眠る家』 東野圭吾 過酷な運命に苦悩する母親。その愛と狂気は成就するのか。愛する人を持つすべての人のために書かれた問題作。ミステリでなくても東野作品だけに一気読み必至。		48	★ ★	『目の見えない人は世界をどう見ているのか』 伊藤亜紗 <見えない>ことは欠落ではなく、脳の内部に新しい扉が開かれること。読み進めるうちに、そんなイメージが見えてくる。今まで読んだことのないような「目の見えない人」の世界。
	36	★	『空飛ぶ広報室』 有川浩 この本はドラマ化もされていて、主人公たちの仕事の大変さなどは知っている人も多いと思いますが、興味のある人はぜひ読んでみてください(図書委員Mさん)	その他	49	★ ★	『ガンダムが教えてくれたこと』 鈴木博毅 ガンダムの登場人物を用いて、ビジネスというある種の戦場での人のあり方などが書かれている。とてもわかりやすい(図書委員Uさん)
	37	★ ★	『グラスホッパー』 伊坂幸太郎 この本は、3人の男が主人公なのですが、その3人の複雑に交錯する時間の書き方がとても上手で、最後までどんな話になるのか分からずハラハラドキドキしました(図書委員Kさん)		50	★ ★	『10代からの情報キャッチボール入門』 下村健一 ネット社会では、誰もが簡単に情報の被害者にも加害者にもなってしまう。そのあたりを注意しながら。誰でもしっかりと情報を受け取り、届けることができるよう丁寧に解説された本。
社現代	38	★ ★ ★	『資本主義の終焉と歴史の危機』 水野和夫 資本主義の最終局面にいち早く立つ日本。世界史上、極めて稀な長期にわたるゼロ金利が示すものは、資本を投資しても利潤の出ない資本主義の「死」だ。新書大賞受賞作。	西高30選 ルール	①過去3年間の推薦書150冊の中から、個人の好みに合う30冊を選び、読破しましょう。 ・シリーズものは、何冊読んでも1冊とカウントします。 ・今年度の対象は2014~2016年度の作品です。(過去のリストは図書館にあります) ②選んだ本について、感想をコメント用紙に記入してください。(用紙は図書館にあります) ③読破した人は、コメント用紙を図書館に提出してください。 ④30選達成者には、全校表彰・賞品があります。		

